

# 令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）

## 設問別結果 [国語]

大阪市教育委員会

### 集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	15,087	130	64.8	6.1
大阪府	57,423	468	64.2	6.8

### 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)		
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府	
	全体	32	100	64.8	64.2	—	—	
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方にに関する事項	8	18	15.0	15.2	83.2	84.3
		情報の扱い方にに関する事項	3	13	6.6	6.4	50.6	49.5
		我が国の言語文化に関する事項	8	25	14.0	13.7	55.9	54.6
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	7	24	14.9	14.6	62.1	60.8
		書くこと	4	14	10.0	9.9	71.7	71.0
		読むこと	9	31	17.5	17.2	56.5	55.4
	評価の観点	知識・技能	19	56	35.5	35.3	63.4	63.0
		思考・判断・表現	20	69	42.5	41.7	61.6	60.4
	問題形式	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
		選択式	16	51	36.6	36.2	71.9	71.1
		短答式	13	35	21.2	21.2	60.6	60.7
		記述式	3	14	6.9	6.7	49.5	47.7

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

### 設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式		貴教育委員会		大阪府			
				知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
				言葉の特徴や使い方にに関する事項	情報の扱い方にに関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと										
一	1 行書で書かれた漢字(祝福)を楷書で書く時の総画数を選択する	行書の書き方を理解している	3		○			○		○		65.9	0.1	63.1	0.1		
	2① 漢字を読む(覆う)	文脈に即して漢字を正しく読んでいる	2	○				○		○		92.5	1.7	92.8	1.6		
	2② 漢字を読む(継承)		2	○				○		○		84.3	3.5	85.8	3.3		
	2③ 漢字を読む(機敏)		2	○				○		○		83.7	4.0	84.3	4.2		
	3① 漢字を書く(マヨわづ)	文脈に即して漢字を正しく書いている	2	○				○		○		81.6	10.5	83.2	10.0		
	3② 漢字を書く(ヨキウ)		2	○				○		○		91.8	3.9	92.5	3.6		
	3③ 漢字を書く(ティリュウ)		2	○				○		○		53.9	13.3	59.3	12.3		
	4 例文中の「から」と文法上同じ意味・用法のものを選択する	助詞の働きについて理解している	3	○				○		○		90.1	0.0	90.0	0.1		
二	5 漢文の読み方として適切なものを選択する	返り点や送り仮名など漢文の訓説に必要な基礎的な事項について理解している	3		○			○		○		79.4	0.1	81.3	0.2		
	1 本文中の空欄に入る言葉として適しているものを選択する	文章の中での言葉の働きを理解している	3	○				○		○		84.1	0.1	84.1	0.2		
	2 本文中の言葉の意味として適しているものを選択する	文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解している	3					○	○	○		89.1	0.1	88.9	0.2		
	3 本文中の段落の役割を説明したものとして適しているものを選択する	文章の中における段落の役割を的確にとらえることができる	4					○	○	○		74.6	0.2	73.3	0.4		
	4 本文中の内容についてまとめた表中の空欄に入る内容を本文中から探し、初めの五字を抜き出す	文章の内容をとらえ、筆者の考えを理解することができる	4					○	○	○		47.7	13.3	47.7	15.8		
	5 本文の内容に合うものとして適しているものを選択する	文章の内容をとらえ、筆者の考えを理解することができる	4					○	○	○		55.9	0.7	54.6	0.9		

令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）  
**設問別結果 [国語]**  
**大阪市教育委員会**

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	15,087	130	64.8	6.1
大阪府	57,423	468	64.2	6.8

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)		
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府	
	全体	32	100	64.8	64.2	—	—	
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方にに関する事項	8	18	15.0	15.2	83.2	84.3
		情報の扱い方にに関する事項	3	13	6.6	6.4	50.6	49.5
		我が国の言語文化に関する事項	8	25	14.0	13.7	55.9	54.6
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	7	24	14.9	14.6	62.1	60.8
		書くこと	4	14	10.0	9.9	71.7	71.0
		読むこと	9	31	17.5	17.2	56.5	55.4
	評価の観点	知識・技能	19	56	35.5	35.3	63.4	63.0
		思考・判断・表現	20	69	42.5	41.7	61.6	60.4
	問題形式	主張的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
		選択式	16	51	36.6	36.2	71.9	71.1
		短答式	13	35	21.2	21.2	60.6	60.7
		記述式	3	14	6.9	6.7	49.5	47.7

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式		貴教育委員会		大阪府	
				知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
				言葉の特徴や使い方にに関する事項	情報の扱い方にに関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと								
三	1	レポートの下書き中の冒頭部分の内容を説明したものとして適しているものを選択する	文章の構成や展開、表現について考えることができる	3			○		○	○	○	84.3	0.2	84.0	0.4
	2	レポートの下書き中の空欄に入る言葉として適しているものを選択する	書く内容が明確になるように、文章の構成や役割を考えることができる	3			○		○	○	○	92.9	0.1	92.2	0.3
	3	見出しをつけた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しが抜き出す	情報と情報との関係について理解している	4	○			○		○	○	27.3	1.4	27.5	1.8
	4	レポートの下書き中の言葉を適切な形に書き直す	文脈に合わせて適切に書くことができる	3			○		○	○	○	35.7	15.4	36.9	17.8
	5	レポートの下書き中の空欄に入れる内容を、グラフから読み取って書く	目的や意図に応じて集めた情報を整理し、伝えたいことを明確にして書くことができる	5	○		○	○	○	○	○	73.2	15.2	70.9	18.4
四	1	各校の取り組みの報告について、三人の報告の共通点を説明したものとして適しているものを選択する	自分の立場や考えが明確になるよう、論理的展開などに注意して話を構成することができます	3			○		○	○	○	81.5	0.4	81.2	0.7
	2	質疑応答の一部中の内容について説明したものとして適しているものを選択する	質問の意図をとらえることができる	3			○		○	○	○	80.3	0.6	79.4	0.9
	3	質疑応答の一部中の空欄に入る内容を、前後の文脈に合わせて数値を用いて具体的に書く	自分の立場や考えが明確になるよう、根拠の適切さに注意して話すことができる	4	○	○	○	○	○	○	○	45.7	13.5	44.6	15.5
	4	質疑応答の一部中の言葉が果たす役割として適しているものを選択する	話し合いの話題や方向をとらえることができる	3			○		○	○	○	85.2	0.9	84.0	1.1
	5	質疑応答の一部中の空欄に入れる内容として適しているものを選択する	必要に応じて確かめたいことを質問することができる	3			○		○	○	○	74.3	1.5	71.9	1.7
	6(1)	報告の一部中の空欄に入る適切な内容を、質疑応答の一部中から探し、初めの四字を抜き出す	目的や意図に応じて伝えたいことを根拠を明確にして話すことができる	3			○		○	○	○	66.9	17.5	65.6	19.8
	6(2)	報告の一部中の空欄に入る適切な内容を、各校の取り組みの報告および質疑応答の一部の内容をふまえて書く	目的や意図に応じて伝えたいことを根拠を明確にして話すことができる	5			○		○	○	○	28.8	32.7	27.0	35.5

# 令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）

## 設問別結果 [国語]

大阪市教育委員会

### 集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	15,087	130	64.8	6.1
大阪府	57,423	468	64.2	6.8

### 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)		
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府	
	全体	32	100	64.8	64.2	—	—	
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方にに関する事項	8	18	15.0	15.2	83.2	84.3
		情報の扱い方にに関する事項	3	13	6.6	6.4	50.6	49.5
		我が国の言語文化に関する事項	8	25	14.0	13.7	55.9	54.6
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	7	24	14.9	14.6	62.1	60.8
		書くこと	4	14	10.0	9.9	71.7	71.0
		読むこと	9	31	17.5	17.2	56.5	55.4
	評価の観点	知識・技能	19	56	35.5	35.3	63.4	63.0
		思考・判断・表現	20	69	42.5	41.7	61.6	60.4
	問題形式	主目的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
		選択式	16	51	36.6	36.2	71.9	71.1
		短答式	13	35	21.2	21.2	60.6	60.7
		記述式	3	14	6.9	6.7	49.5	47.7

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

### 設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式		貴教育委員会		大阪府	
				知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
				言葉の特徴や使い方にに関する事項	情報の扱い方にに関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと								
五	1 現代かなづかいに直して書く(つたわりたる)	文語のきまりにしたがって書いている	3		○			○		○	63.0	9.2	61.2	11.4	
	2 本文中の登場人物の関係として適しているものを選択する	文章全体と部分との関係を考え、内容の理解に役立てることができる	3		○		○	○	○	○	30.4	1.6	31.0	1.8	
	3 本文中の言葉がさし示す二人の人物の名前をそれぞれ抜き出す	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができる	3		○		○	○	○	○	55.8	11.3	53.9	13.6	
	4 本文中の言葉を現代語に直したときの意味として適しているものを選択する	文章全体と部分との関係を考え、内容の理解に役立てができる	3		○		○	○	○	○	61.3	2.9	59.2	3.2	
	5(1) 会話の一部中の空欄に入る言葉として適しているものをそれぞれ書く	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てことができる	3		○		○	○	○	○	61.0	13.0	58.2	15.2	
	5(2) 会話の一部中の空欄に入る内容として適しているものをそれぞれ選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てことができる	4		○		○	○	○	○	36.7	4.9	35.3	5.3	

# 令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）

## 設問別結果 [社会]

### 大阪市教育委員会

#### 集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	15,174	130	51.5	5.8
大阪府	57,776	468	51.2	6.5

#### 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	39	100	51.5	51.2	—	—
学習指導要領の領域	地理的分野	21	55	28.7	28.4	52.1	51.6
	歴史的分野	18	45	22.9	22.9	50.9	50.8
評価の観点	知識・技能	27	65	36.7	36.5	56.5	56.2
	思考・判断・表現	12	35	14.8	14.7	42.3	42.0
問題形式	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
	選択式	30	78	42.3	42.0	54.3	53.8
	短答式	6	14	7.7	7.8	55.2	55.7
	記述式	3	8	1.5	1.5	18.4	18.1

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

#### 設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点		問題形式		貴教育委員会		大阪府		
				地理的分野	歴史的分野	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1	(1) 地形図から読み取れる内容として誤っているものを選ぶ	地形図からさまざまな情報を読み取ることができる	3	○	○	○	○	○	○	○	○	66.8	0.3	65.2 0.4
	(2) 2万5千分の1の地図上の長さに対応する実際の距離を選ぶ	地図における縮尺を活用できる	2	○	○	○	○	○	○	○	○	75.2	0.2	72.6 0.3
	(3) 地形図から読み取れる地形に合う断面図を選ぶ	土地の標高について、地形図から読み取れる情報をもとに考察することができる	3	○	○	○	○	○	○	○	○	79.1	0.2	77.3 0.5
	(4) 江戸時代の化政文化を代表し、風景画で有名な人物を選ぶ	葛飾北斎について理解している	3	○	○	○	○	○	○	○	○	72.1	0.3	71.6 0.4
2	(1)① 中大兄皇子と中臣鎌足らによる政治改革の名前を書く	大化の改新について理解している	2	○	○	○	○	○	○	○	○	55.2	16.1	56.9 17.4
	(1)② 中大兄皇子に関する文章中の空欄に入る適切な語を書く	白村江の戦いについて理解している	3	○	○	○	○	○	○	○	○	35.2	33.2	36.8 35.1
	(1)③ 中大兄皇子に関する文章中の空欄に入る適切な語の組み合わせを選ぶ	大津宮と天武天皇について理解している	2	○	○	○	○	○	○	○	○	25.1	0.1	25.2 0.3
	(2)① 上皇が政治を動かす体制の名前について書く	院政について理解している	3	○	○	○	○	○	○	○	○	38.3	25.5	38.2 28.7
	(2)② 平清盛に関する文章中の空欄に入る適切な語を選ぶ	平清盛について理解している	2	○	○	○	○	○	○	○	○	69.7	0.1	70.9 0.2
	(2)③ 航海の安全を祈願するために整備された嚴島神社の場所を選ぶ	嚴島神社の場所について理解している	2	○	○	○	○	○	○	○	○	70.8	0.4	71.6 0.6
	(2)④ 鎌倉幕府成立期における源頼朝に関することについて述べた文の正誤の正しい組み合わせを選ぶ	源頼朝について理解している	3	○	○	○	○	○	○	○	○	17.7	0.3	17.1 0.4
	(3)① 井伊直弼に関する会話文中の空欄に入る適切な語の組み合わせを選ぶ	井伊直弼について理解している	2	○	○	○	○	○	○	○	○	34.9	0.2	33.5 0.4
	(3)② 井伊直弼に関する会話文中の空欄に入る適切なことばの組み合わせを選ぶ	通商条約締結後の貿易とその影響について理解している	3	○	○	○	○	○	○	○	○	71.7	0.5	71.0 0.6
	(3)③ 不平等条約改正の過程で起こったできごとについて、起こった順に並べたものを選ぶ	不平等条約改正の推移を考察することができる	3	○	○	○	○	○	○	○	○	52.2	0.3	53.1 0.5

# 令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）

## 設問別結果 [社会]

大阪市教育委員会

### 集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	15,174	130	51.5	5.8
大阪府	57,776	468	51.2	6.5

### 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	39	100	51.5	51.2	—	—
学習指導要領の領域	地理的分野	21	55	28.7	28.4	52.1	51.6
	歴史的分野	18	45	22.9	22.9	50.9	50.8
評価の観点	知識・技能	27	65	36.7	36.5	56.5	56.2
	思考・判断・表現	12	35	14.8	14.7	42.3	42.0
問題形式	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
	選択式	30	78	42.3	42.0	54.3	53.8
	短答式	6	14	7.7	7.8	55.2	55.7
	記述式	3	8	1.5	1.5	18.4	18.1

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

### 設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点		問題形式		貴教育委員会		大阪府		
				地理的分野	歴史的分野	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
3	(1) 世界の各州の面積、人口、農産物生産量の表から、アジア州に当たるものと小麦の生産量に当たるものとの組み合わせを選ぶ	資料から読み取れる情報をもとに考察することができる	3	○		○		○				54.5	0.3	54.3 0.4
	(2)① 地図に示された国々において、多くの人に信仰されている宗教を選ぶ	イスラム教について理解している	3	○	○			○				53.7	0.2	53.3 0.4
	(2)② 地図に示された山脈を選ぶ	ヒマラヤ山脈について理解している	2	○	○			○				57.2	0.3	57.8 0.5
	(2)③ 3地点の雨温図とアブダビ、コタキナバル、ブサンの組み合わせを選ぶ	アブダビ、コタキナバル、ブサンの気候の特徴について考察することができる	3	○		○		○				56.7	0.3	55.5 0.5
	(3)① 中国の農業の分布を示した地図中の地域で盛んな農業の組み合わせを選ぶ	資料から読み取れる情報をもとに考察することができる	3	○		○		○				23.2	0.6	24.0 0.8
	(3)② 中国の工業に関する文章中の空欄に入る語を書く	「世界の工場」について理解している	2	○	○				○			74.3	9.2	74.7 10.3
	(4)① 東南アジアの経済発展に関する文章中の空欄に入る語をそれぞれ選ぶ	プランテーションとASEANについて理解している	2	○	○			○				81.8	0.2	81.5 0.4
	(4)② マレーシア、シンガポール、インドネシアの輸出品に関するグラフから読み取れる内容として誤っているものを選ぶ	資料から情報を正確に読み取ることができる	3	○	○			○				42.9	0.5	42.2 0.8

令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）  
**設問別結果 [社会]**  
**大阪市教育委員会**

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	15,174	130	51.5	5.8
大阪府	57,776	468	51.2	6.5

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	39	100	51.5	51.2	—	—
学習指導要領の領域	地理的分野	21	55	28.7	28.4	52.1	51.6
	歴史的分野	18	45	22.9	22.9	50.9	50.8
評価の観点	知識・技能	27	65	36.7	36.5	56.5	56.2
	思考・判断・表現	12	35	14.8	14.7	42.3	42.0
問題形式	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
	選択式	30	78	42.3	42.0	54.3	53.8
	短答式	6	14	7.7	7.8	55.2	55.7
	記述式	3	8	1.5	1.5	18.4	18.1

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点		問題形式		貴教育委員会		大阪府		
				地理的分野	歴史的分野	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
4	(1)① 北海道の自然に関する文章中の空欄に入る語の組み合わせを選ぶ	北見山地と石狩川について理解している	2	○	○	○		○	○			39.5	0.3	38.8 0.6
	(1)② 冬に流氷が押し寄せる紋別市の場所を選ぶ	流氷が押し寄せる地域について理解している	2	○	○	○		○	○			66.0	0.9	66.5 1.2
	(1)③ 北海道の道路にある施設についての文章中の空欄に入ることばを書く	北海道の雪対策について理解している	2	○	○	○		○	○			64.4	11.8	64.3 13.3
	(1)④ 北海道の霧の発生に関する地図、表、文章から釧路における霧日数が多い理由を書く	資料に示された情報をもとに考察し、説明することができる	4	○	○	○		○	○			6.1	35.2	6.1 39.6
	(2)① 北海道の3市町の位置と農業産出額の特徴の組み合わせを選ぶ	資料から読み取れる情報をもとに考察することができる	3	○	○	○		○	○			23.8	0.6	22.9 0.9
	(2)② 北海道の漁業に関するグラフから読み取れる内容として誤っているものを選ぶ	資料から情報を正確に読み取ることができる	3	○	○	○		○	○			61.9	0.7	60.5 1.1
	(3)① 都道府県別の米の収穫量、人口、製造品出荷額とそれとの分布を示した地図の組み合わせを選ぶ	資料から読み取れる情報をもとに考察することができる	3	○	○	○		○	○			71.7	0.8	70.7 1.2
	(3)② 火山災害、土砂災害、津波のいずれかの自然災害伝承碑の分布地図のうち、津波の自然災害伝承碑の分布地図を選ぶ	資料から読み取れる情報をもとに考察することができる	3	○	○	○		○	○			66.4	1.5	67.4 1.8
	(4)④ 貨客混載の事業に関する資料をもとに会話文中の空欄に入ることばを書く	資料から読み取れる情報をもとに考察し、説明することができる	2	○	○	○		○	○			36.7	30.9	36.4 34.6
	(4)⑤		2	○	○	○		○	○			24.5	33.7	24.0 37.7
5	(1)① 『社会契約論』の著者で人民主権を唱えたフランスの思想家を選ぶ	ルソーについて理解している	3	○	○	○		○	○			47.2	1.1	47.1 1.2
	(1)② 足尾銅山の場所を選ぶ	足尾銅山の場所について理解している	2	○	○	○		○	○			49.0	2.0	49.7 2.2
	(1)③ 衆議院議員選挙における選挙法改正の推移に関する文章中の空欄に入ることばをそれぞれ選ぶ	選挙法改正の推移について理解している	3	○	○	○		○	○			63.2	1.0	60.9 1.2
	(2)① 聖徳太子が行ったこととして誤っているものを選ぶ	聖徳太子について理解している	2	○	○	○		○	○			71.1	1.5	71.6 1.6
	(2)② 浄土宗を開いた人物を選ぶ	法然について理解している	2	○	○	○		○	○			64.6	1.7	63.3 1.8
	(3)① 高度経済成長期に関するできごとについて、起こった順に並べたものを選ぶ	高度経済成長期に起こったできごとの推移を考察することができる	3	○	○	○		○	○			17.1	2.0	16.7 2.2
	(3)② 1972年に日本に返還された県を書く	沖縄について理解している	2	○	○	○		○	○			82.1	10.5	81.9 12.0

# 令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）

## 設問別結果 [数学]

大阪市教育委員会

### 集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	15,132	130	54.3	11.1
大阪府	57,590	468	53.9	12.1

### 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	33	100	54.3	53.9	—	—
学習指導要領の領域	数と式	9	28	16.2	16.0	57.9	57.2
	図形	9	27	16.9	16.9	62.5	62.5
	関数	9	27	11.8	11.7	43.7	43.5
	データの活用	6	18	9.4	9.3	52.4	51.6
評価の観点	知識・技能	22	67	43.5	43.1	64.9	64.3
	思考・判断・表現	11	33	10.8	10.8	32.8	32.9
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	18	54	34.2	33.9	63.4	62.9
	短答式	12	37	18.3	18.2	49.5	49.1
	記述式	3	9	1.8	1.8	19.9	20.3

※1つの設問が複数の区分に該当する事があるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

### 設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点		問題形式		貴教育委員会		大阪府					
				数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1	(1) $10+6 \div (-2)$ を計算する	正の数と負の数の計算ができる	4	○				○			○			88.9	1.0	88.1	1.5
	(2) $(\sqrt{7}+2)(\sqrt{7}-2)$ を計算した結果として正しいものを選ぶ	式の展開を用いて根号を含む計算ができる	3	○				○			○			75.4	0.3	74.5	0.5
	(3) 「鉛筆を1人に $a$ 本ずつ8人に配ったところ、配った鉛筆の本数の合計は40本より多い。」という数量の関係を表した式として正しいものを選ぶ	数量の大小関係を不等式に表すことができる	3	○				○			○			83.7	0.1	83.6	0.3
2	(1) 連立方程式 $\begin{cases} 4x+3y=11 \\ -2x+y=-3 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	3	○				○			○			79.3	5.1	78.2	6.3
	(2)(i) 成功した、3ポイントシュートと2ポイントシュートの本数の合計を選ぶ	表から必要な情報を求めることができる	3	○				○			○			39.7	1.3	38.7	1.8
	(2)(ii) 獲得した点数に着目して、空欄に当てはまる式を求める	着目した数量の関係から二元一次方程式をつくることができる	3	○				○			○			17.7	27.0	17.0	30.2
3	(1) 与えられた投影図から立体を読み取り、その立体を選ぶ	与えられた投影図から立体を読み取り、その立体を選ぶ	3		○			○			○			79.4	0.1	79.5	0.3
	(2) 円錐の展開図で側面になるおうぎ形の弧の長さとして正しいものを選ぶ	円錐の展開図において、底面の円周の長さと側面のおうぎ形の弧の長さとの関係を理解している	3		○			○			○			72.7	1.0	72.0	1.1
	(3) 長方形の1辺を軸として1回転させてできる立体を選ぶ	長方形の1辺を軸として回転させると円柱が構成されることを理解している	3		○			○			○			89.0	0.4	88.7	0.6
	(4) 平行線や角の性質を用いて角の大きさを求める	平行線に直線が交わってできる角の性質を理解している	3		○			○			○			72.6	2.6	72.3	3.5
	(5) 多角形の外角の和を用いて角の大きさを求める	多角形の外角の意味を理解している	3		○			○			○			83.0	2.6	83.3	3.5
	(6) 立方体の見取図を読み取り、2つの線分の長さの関係について、正しい記述を選ぶ	見取図に表された立方体の面上の線分の長さの関係を読み取ることができる	3		○			○			○			73.0	0.2	73.0	0.4

令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）  
**設問別結果 [数学]**  
**大阪市教育委員会**

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	15,132	130	54.3	11.1
大阪府	57,590	468	53.9	12.1

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	33	100	54.3	53.9	—	—
学習指導要領の領域	数と式	9	28	16.2	16.0	57.9	57.2
	図形	9	27	16.9	16.9	62.5	62.5
	関数	9	27	11.8	11.7	43.7	43.5
評価の観点	データの活用	6	18	9.4	9.3	52.4	51.6
	知識・技能	22	67	43.5	43.1	64.9	64.3
	思考・判断・表現	11	33	10.8	10.8	32.8	32.9
問題形式	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
	選択式	18	54	34.2	33.9	63.4	62.9
	短答式	12	37	18.3	18.2	49.5	49.1
	記述式	3	9	1.8	1.8	19.9	20.3

※1つの設問が複数の区分に該当する事があるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点		問題形式		貴教育委員会		大阪府				
				数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
4	(1) $y$ が $x$ に反比例するものを選ぶ	反比例の特徴を理解している	3		○		○			○			57.2	0.4	57.0	0.7
	(2) 比例 $y = -6x$ の $x$ と $y$ の関係を示した表を選ぶ	比例の特徴を表と関連付けて理解している	3		○		○			○			71.6	0.2	71.4	0.5
	(3) 二元一次方程式が表すグラフを選ぶ	二元一次方程式を関数を表す式とみて、そのグラフの傾きと切片の意味を理解している	3		○		○			○			46.5	1.3	45.3	1.6
	(4) 直線 $y = 2x + b$ が線分AB上の点を通るときの $b$ の値の範囲を求める	一次関数 $y = ax + b$ のグラフが $y = ax$ のグラフを $y$ 軸の正の方向に $b$ だけ平行移動した直線であることを理解している	3		○		○			○			31.4	14.7	30.3	17.8
	(5) 四角形ABCDの辺上を頂点AからB、C、Dと毎秒1cmで移動する点Pについて、 $x$ 秒後の△ADPの面積 $y$ $\text{cm}^2$ を表すグラフを選ぶ	変化する数量の特徴を捉え、グラフに表すことができる	3		○		○			○			43.0	2.0	44.2	2.5
5	(1) さいころを投げるとき、目の出方が同様に確からしいことについて正しく述べたものを選ぶ	同様に確からしいことについて理解している	3			○	○			○			79.7	0.3	79.0	0.5
	(2) 1~4のかかれた玉の中から1つ取り出した玉にかかれた数を $a$ 、5~8のかかれた玉の中から1つ取り出した玉にかかれた数を $b$ とするとき、 $a$ と $b$ の積が3の倍数になる確率を求める	起こりうる場合を順序よく整理し、確率を求めることができる	3			○	○			○			43.2	18.6	44.4	20.8
6	(1)(1) 2つの角について、正しい記述を選ぶ	錯角の意味を理解している	3	○			○			○			64.7	1.3	63.9	1.6
	(1)(2) 2つの三角形が合同であることを証明する	すじ道を立てて考え、証明することができる	3	○			○			○			20.0	39.4	21.5	39.9
	(2) 2つの角の関係を、一方を $x^\circ$ 、もう一方を $a^\circ$ として、 $x$ を $a$ を使った式で表す	付加された条件の下で、2つの角の大きさの関係を式で表すことができる	3	○			○			○			8.4	53.1	8.5	56.8

令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）  
**設問別結果 [数学]**  
**大阪市教育委員会**

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	15,132	130	54.3	11.1
大阪府	57,590	468	53.9	12.1

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	33	100	54.3	53.9	—	—
学習指導要領の領域	数と式	9	28	16.2	16.0	57.9	57.2
	図形	9	27	16.9	16.9	62.5	62.5
	関数	9	27	11.8	11.7	43.7	43.5
評価の観点	データの活用	6	18	9.4	9.3	52.4	51.6
	知識・技能	22	67	43.5	43.1	64.9	64.3
	思考・判断・表現	11	33	10.8	10.8	32.8	32.9
問題形式	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
	選択式	18	54	34.2	33.9	63.4	62.9
	短答式	12	37	18.3	18.2	49.5	49.1
	記述式	3	9	1.8	1.8	19.9	20.3

※1つの設問が複数の区分に該当する事があるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点		問題形式		貴教育委員会		大阪府				
				数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
7	(1) 参加者数が70人のときの支出総額を求める	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる	3		○		○		○		○		67.8	4.7	66.6	6.1
	(2) 参加者数と支出総額の関係を表すグラフ上の2つの点について、y座標の差が表すものを選ぶ	グラフ上にある2つの点のy座標の差を事象に即して解釈することができる	3		○		○		○		○		30.8	0.8	30.9	1.3
	(3) 収入総額、支出総額について、交点の座標から読み取ることを、交点のx座標、y座標の両方の値を用いて説明する	グラフの交点の座標から読み取ることを事象に即して説明することができる	3		○		○				○		19.9	57.8	20.1	58.7
	(4) 収入総額から支出総額をひいた値が24000円のときの参加者数を求める	事象を数学的に解釈し、グラフや式を活用して問題を解決することができる	3		○		○				○		25.2	20.0	25.6	23.1
8	(1)① 度数分布表の階級の幅を求める	度数分布表の階級の幅を理解している	3		○	○				○			54.0	12.4	52.4	14.6
	(1)② 度数分布表からわかることとして正しいものを選ぶ	資料から必要な情報を適切に読み取ることができる	3		○	○			○				49.2	1.5	47.6	1.9
	(2)① 2つの箱ひげ図から、範囲と四分位範囲の大さきについて正しいものを選ぶ	箱ひげ図から範囲と四分位範囲を読み取ることができる	3		○	○			○				68.6	2.4	67.1	2.7
	(2)② 箱ひげ図から傾向を読み取り、そのように主張できる理由を説明することができる	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	3			○	○				○		19.8	48.3	19.3	50.0
9	(1) 6番目の正方形の灰色のタイルの枚数を選ぶ	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	3	○			○		○				76.5	2.3	74.8	2.8
	(2) 白色と灰色のタイルの枚数がともに98枚である正方形は、何番目の正方形かを選ぶ	与えられた表から奇数番目、偶数番目の特徴を理解することができる	3	○			○		○				40.1	4.3	40.3	4.7
	(3) $n$ が奇数のとき、 $n$ 番目の正方形の白色と灰色のタイルの枚数を $n$ を用了式で表す	与えられた表を読み取り、文字を用いた式で数量を表すことができる	3	○			○		○		○		9.1	39.1	9.5	41.8

## 令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）

## 設問別結果 [理科A]

大阪市教育委員会

## 集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	2,720	22	48.2	8.6
大阪府	11,870	95	48.1	10.0

## 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
全体	「エネルギー」	30	100	48.2	48.1	—	—
学習指導要領の領域	「粒子」	6	20	8.4	8.4	41.8	41.8
	「生命」	12	40	18.6	18.7	46.4	46.7
	「地球」	6	20	11.4	11.4	57.1	57.2
	「知識・技能	6	20	9.8	9.6	48.9	48.1
評価の観点	「思考・判断・表現」	17	53	29.8	29.6	56.3	55.9
	「主体的に学習に取り組む態度」	13	47	18.3	18.5	39.0	39.3
問題形式	選択式	—	—	—	—	—	—
	短答式	15	48	26.3	26.2	54.7	54.6
	記述式	13	44	19.5	19.6	44.3	44.5

※1つの設問が複数の区分に該当する事があるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

## 設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
				「エネルギー」	「粒子」	「生命」	「地球」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1	(1)① 脊椎動物に分類される動物を選ぶ	脊椎動物の特徴について理解している	4		○		○		○		○			44.4	0.1	45.4	0.2
	(1)② のばしている腕を曲げるときの筋肉のようすを述べた文として適しているものを選ぶ	骨と筋肉のはたらきを理解している	3		○		○		○		○			83.0	0.1	81.8	0.2
	(1)③ ヒトが物体を見るときに物体の像ができる部分の名前を書く	網膜について理解している	3		○		○		○		○			45.7	17.6	42.8	21.1
	(2)① 刺激を受けとってから反応するまでの刺激や命令の信号が伝わる経路を選ぶ	ヒトが意識して起こす反応における、刺激や命令の信号が伝わる経路について理解している	3		○		○		○		○			65.1	0.1	65.6	0.2
	(2)② 刺激を受けとる器官と、反応の命令の信号を出す器官の組み合わせとして適しているものを選ぶ	受け取った刺激の種類と、反応の命令の信号を出す器官のちがいを理解している	3		○		○		○		○			68.8	0.3	68.6	0.5
	(2)③ 刺激を受けとってから反応するまでにかかる、1人あたりの時間を計算により求める	ヒトが意識して起こす反応における、刺激を受けとってから反応するまでの時間について考えることができる	4		○		○		○		○			44.4	9.6	46.4	12.1

## 令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）

## 設問別結果 [理科A]

大阪市教育委員会

## 集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	2,720	22	48.2	8.6
大阪府	11,870	95	48.1	10.0

## 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
全体	「エネルギー」	30	100	48.2	48.1	—	—
学習指導要領の領域	「粒子」	6	20	8.4	8.4	41.8	41.8
	「生命」	12	40	18.6	18.7	46.4	46.7
	「地球」	6	20	11.4	11.4	57.1	57.2
	「知識・技能	6	20	9.8	9.6	48.9	48.1
評価の観点	思考・判断・表現	17	53	29.8	29.6	56.3	55.9
	主体的に学習に取り組む態度	13	47	18.3	18.5	39.0	39.3
問題形式	選択式	—	—	—	—	—	—
	短答式	15	48	26.3	26.2	54.7	54.6
	記述式	13	44	19.5	19.6	44.3	44.5

※1つの設問が複数の区分に該当する事があるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

## 設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点		問題形式		貴教育委員会		大阪府					
				「エネルギー」	「粒子」	「生命」	「地球」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
2	(1) 水溶液の説明として正しいものを選ぶ	水溶液について理解している	3	○				○			○			57.8	0.5	56.2	0.6
	(2) 物質が水に限度まで溶けており、これ以上溶けなくなった状態の水溶液の名前を書く	飽和水溶液について理解している	3	○				○			○			55.1	14.7	57.0	15.8
	(3) 水などの溶媒に溶かした物質を再び結晶として取り出すことの名前を書く	再結晶について理解している	3	○				○			○			88.1	7.0	86.5	8.4
	(4)① 水溶液の質量パーセント濃度を求める	質量パーセント濃度を求めることができる	3	○				○			○			28.3	20.6	28.7	23.9
	(4)② 溶け残ったホウ酸をすべて溶かすために、60°Cの水が少なくともあと何g必要かを求める	溶質と溶媒の質量について、溶解度と関連づけて考えることができる	4	○				○			○			5.7	29.3	5.4	33.5
	(5) 物質bと物質cを区別する考え方をまとめた文中の空欄に入る適切なことばを書く	溶解度について理解しており、それぞれの水溶液の温度を下げることで起こる現象を、溶解度曲線と関連づけて説明することができる	4	○				○			○			12.1	33.6	11.5	38.0

# 令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）

## 設問別結果 [理科A]

大阪市教育委員会

### 集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	2,720	22	48.2	8.6
大阪府	11,870	95	48.1	10.0

### 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
全体	「エネルギー」	30	100	48.2	48.1	—	—
学習指導要領の領域	「粒子」	6	20	8.4	8.4	41.8	41.8
	「生命」	12	40	18.6	18.7	46.4	46.7
	「地球」	6	20	11.4	11.4	57.1	57.2
	知識・技能	6	20	9.8	9.6	48.9	48.1
評価の観点	思考・判断・表現	17	53	29.8	29.6	56.3	55.9
	主体的に学習に取り組む態度	13	47	18.3	18.5	39.0	39.3
問題形式	選択式	—	—	—	—	—	—
	短答式	15	48	26.3	26.2	54.7	54.6
	記述式	13	44	19.5	19.6	44.3	44.5

※1つの設問が複数の区分に該当する事があるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

### 設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点		問題形式		貴教育委員会		大阪府					
				「エネルギー」	「粒子」	「生命」	「地球」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
3	(1)① 太平洋にあるDのプレートの名前を書く	太平洋プレートについて理解している	3			○	○				○			63.1	11.0	62.2	14.3
	(1)② 海洋プレートが他のプレートの下に沈み込み、海の深さがまわりの海底に比べて特に深くなっている地形の名前を書く	海溝について理解している	3			○	○				○			34.4	19.3	33.4	22.8
	(2) マグマが冷え固まってできた火成岩をすべて選ぶ	火成岩について理解している	3			○	○				○			38.9	0.4	37.1	0.4
	(3) 比較的大きな鉱物が小さな鉱物やガラス質の間に散らばっているつくりの名前と、そのつくりをもつ火成岩をそれぞれ選ぶ	斑状組織と火山岩について理解している	3			○	○				○			57.9	0.2	56.1	0.4
	(4)① 火山灰に関することがらについて述べた文とし、その内容が誤っているものを選ぶ	火山灰に関することがらについて考えて考えることができる	4			○	○				○			50.8	0.5	52.1	0.8
	(4)② 富士山の噴火による火山灰が、富士山の西の方向よりも東の方向のほうが、より遠くまで到達すると予測されている理由を書く	中緯度上空を吹く風について考え、火山灰がその風に流されることを説明することができる	4			○	○				○			48.1	20.3	46.8	22.4

令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）  
**設問別結果 [理科A]**  
**大阪市教育委員会**

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	2,720	22	48.2	8.6
大阪府	11,870	95	48.1	10.0

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	30	100	48.2	48.1	—	—
学習指導要領の領域	「エネルギー」	6	20	8.4	8.4	41.8	41.8
	「粒子」	12	40	18.6	18.7	46.4	46.7
	「生命」	6	20	11.4	11.4	57.1	57.2
	「地球」	6	20	9.8	9.6	48.9	48.1
評価の観点	知識・技能	17	53	29.8	29.6	56.3	55.9
	思考・判断・表現	13	47	18.3	18.5	39.0	39.3
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	15	48	26.3	26.2	54.7	54.6
	短答式	13	44	19.5	19.6	44.3	44.5
	記述式	2	8	2.4	2.3	30.1	29.2

※1つの設問が複数の区分に該当する事があるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点		問題形式		貴教育委員会		大阪府			
				「エネルギー」	「粒子」	「生命」	「地球」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
4	(1)① 花火が開いた位置からごうさんまでの距離を求める	音の伝わる速さを求め、花火が開いた位置から人のいる位置までの距離を計算により求めることができる	4	○				○		○	○	49.4	12.7	49.4	15.4
	(1)② 花火を見たときの気温が低かったと仮定したときの、異なる2つの位置における、花火が開いたときの、光が見えてから音が聞こえるまでの時間の差について述べた文として正しいものを選ぶ	音が空気中を伝わる速さの温度による違いによって起こることについて考えることができる	3	○				○		○	○	52.5	0.5	53.0	0.6
	(2) 液体の中や固体の中で音が伝わるかどうかについて述べた文として正しいものを選ぶ	液体の中や固体の中での音の伝わり方を理解している	3	○				○		○	○	47.2	0.6	46.7	0.7
	(3)① 音の波形から、その波形として記録された音の振動数を求める	記録された波形から、弦の1回の振動にかかる時間を求め、その時間から弦の振動による音の振動数を求めることができる	4	○				○		○	○	17.0	22.7	17.3	25.8
	(3)② ⑥の音の波形と⑦の音の波形を記録したものとして、適しているものをそれぞれ選ぶ	弦が振動する部分の長さや弦の振れ幅の大きさにより、音の波形がどのように変化するか考えることができる	3	○				○		○	○	42.5	0.4	41.3	0.8
	(3)③ 弦の張りを強くして弦をはじいたときの、音の波形を選ぶ	弦を張る強さにより、音の波形がどのように変化するか考えることができる	3	○				○		○	○	48.2	2.3	48.9	2.6

## 令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）

## 設問別結果 [理科A]

大阪市教育委員会

## 集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	2,720	22	48.2	8.6
大阪府	11,870	95	48.1	10.0

## 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
全体	「エネルギー」	30	100	48.2	48.1	—	—
学習指導要領の領域	「粒子」	6	20	8.4	8.4	41.8	41.8
	「生命」	12	40	18.6	18.7	46.4	46.7
	「地球」	6	20	11.4	11.4	57.1	57.2
	「知識・技能」	6	20	9.8	9.6	48.9	48.1
評価の観点	「思考・判断・表現」	17	53	29.8	29.6	56.3	55.9
	「主体的に学習に取り組む態度」	13	47	18.3	18.5	39.0	39.3
問題形式	選択式	—	—	—	—	—	—
	短答式	15	48	26.3	26.2	54.7	54.6
	記述式	13	44	19.5	19.6	44.3	44.5

※1つの設問が複数の区分に該当する事があるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

## 設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
				「エネルギー」	「粒子」	「生命」	「地球」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
5A	(1)① 水に溶けると水溶液に電流が流れ物質の名前を漢字3字で書く	電解質について理解している	3	○				○			○			80.6	9.4	79.2	11.1
	(1)② 硫酸亜鉛の電離のようすを表した式中の空欄に入る適切な陽イオンと陰イオンの化学式をそれぞれ書く	硫酸亜鉛の電離について理解している	3	○				○			○			47.5	9.0	48.5	11.5
	(2) 硫酸銅水溶液中で起こる亜鉛板の変化について書かれた文章中の空欄に入ることばをそれぞれ書く	硫酸銅水溶液中に亜鉛板を入れたときの、亜鉛板の変化について理解している	4	○				○			○			38.9	12.4	42.1	14.2
	(3) 銅、マグネシウム、亜鉛を、イオンになりやすい順に並べているものを選ぶ	実験結果をもとに、金属のイオンへのなりやすさのちがいについて考えることができる	3	○				○			○			61.6	0.8	62.0	0.8
	(4) レモン果汁にリトマス紙をつけたときの変化と、レモン果汁に含まれると考えられる陽イオンの名前をそれぞれ選ぶ	水素イオンの性質を理解している	3	○				○			○			49.6	0.8	49.8	0.9
	(5) 硝酸銀水溶液の中に鉄板を入れたときに起こると考えられる現象を選ぶ	実験結果をもとに、銀と鉄のイオンへのなりやすさのちがいについて考えることができる	4	○				○			○			56.4	1.3	57.0	1.2

## 令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）

## 設問別結果 [理科B]

大阪市教育委員会

## 集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	12,494	108	46.5	9.4
大阪府	45,789	372	46.0	11.0

## 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
全体	「エネルギー」	30	100	46.5	46.0	—	—
学習指導要領の領域	「粒子」	6	20	8.1	8.1	40.5	40.5
	「生命」	6	20	7.4	7.3	36.9	36.5
	「地球」	12	40	21.7	21.4	54.3	53.6
	知識・技能	6	20	9.3	9.2	46.4	45.9
評価の観点	思考・判断・表現	17	53	30.3	30.0	57.1	56.6
	主体的に学習に取り組む態度	13	47	16.2	16.0	34.5	34.0
問題形式	選択式	—	—	—	—	—	—
	短答式	15	48	24.8	24.7	51.8	51.5
	記述式	13	44	19.4	19.1	44.0	43.4

※1つの設問が複数の区分に該当する事があるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

## 設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
				「エネルギー」	「粒子」	「生命」	「地球」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1	(1)① 脊椎動物に分類される動物を選ぶ	脊椎動物の特徴について理解している	4		○		○		○		○			44.8	0.1	44.4	0.3
	(1)② のばしている腕を曲げるときの筋肉のようすを述べた文として適しているものを選ぶ	骨と筋肉のはたらきを理解している	3		○		○		○		○			82.8	0.2	81.2	0.3
	(1)③ ヒトが物体を見るときに物体の像ができる部分の名前を書く	網膜について理解している	3		○		○		○		○			43.2	18.5	41.2	22.2
	(2)① 刺激を受けとってから反応するまでの刺激や命令の信号が伝わる経路を選ぶ	ヒトが意識して起こす反応における、刺激や命令の信号が伝わる経路について理解している	3		○		○		○		○			64.2	0.2	63.8	0.3
	(2)② 刺激を受けとる器官と、反応の命令の信号を出す器官の組み合わせとして適しているものを選ぶ	受け取った刺激の種類と、反応の命令の信号を出す器官のちがいを理解している	3		○		○		○		○			68.5	0.5	67.6	0.7
	(2)③ 刺激を受けとってから反応するまでにかかる、1人あたりの時間を計算により求める	ヒトが意識して起こす反応における、刺激を受けとってから反応するまでの時間について考えることができる	4		○		○		○		○			43.8	9.9	44.2	13.2

# 令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）

## 設問別結果 [理科B]

大阪市教育委員会

### 集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	12,494	108	46.5	9.4
大阪府	45,789	372	46.0	11.0

### 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
全体	「エネルギー」	30	100	46.5	46.0	—	—
学習指導要領の領域	「粒子」	6	20	8.1	8.1	40.5	40.5
	「生命」	6	20	7.4	7.3	36.9	36.5
	「地球」	12	40	21.7	21.4	54.3	53.6
	知識・技能	6	20	9.3	9.2	46.4	45.9
評価の観点	思考・判断・表現	17	53	30.3	30.0	57.1	56.6
	主体的に学習に取り組む態度	13	47	16.2	16.0	34.5	34.0
問題形式	選択式	—	—	—	—	—	—
	短答式	15	48	24.8	24.7	51.8	51.5
	記述式	13	44	19.4	19.1	44.0	43.4

※1つの設問が複数の区分に該当する事があるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

### 設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
				「エネルギー」	「粒子」	「生命」	「地球」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
2	(1) 水溶液の説明として正しいものを選ぶ	水溶液について理解している	3	○				○			○			54.7	0.4	54.5	0.6
	(2) 物質が水に限度まで溶けており、これ以上溶けなくなった状態の水溶液の名前を書く	飽和水溶液について理解している	3	○				○			○			54.5	14.8	55.6	16.7
	(3) 水などの溶媒に溶かした物質を再び結晶として取り出すことの名前を書く	再結晶について理解している	3	○				○			○			87.0	7.7	85.5	9.2
	(4)① 水溶液の質量パーセント濃度を求める	質量パーセント濃度を求めることができる	3	○				○			○			28.2	21.9	27.8	25.4
	(4)② 溶け残ったホウ酸をすべて溶かすために、60°Cの水が少なくともあと何g必要かを求める	溶質と溶媒の質量について、溶解度と関連づけて考えることができる	4	○				○			○			4.2	30.0	4.3	34.9
	(5) 物質bと物質cを区別する考え方をまとめた文中の空欄に入る適切なことばを書く	溶解度について理解しており、それぞれの水溶液の温度を下げることで起こる現象を、溶解度曲線と関連づけて説明することができる	4	○				○			○			12.0	35.6	10.8	40.3

# 令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）

## 設問別結果 [理科B]

大阪市教育委員会

### 集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	12,494	108	46.5	9.4
大阪府	45,789	372	46.0	11.0

### 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
全体	「エネルギー」	30	100	46.5	46.0	—	—
学習指導要領の領域	「粒子」	6	20	8.1	8.1	40.5	40.5
	「生命」	6	20	7.4	7.3	36.9	36.5
	「地球」	12	40	21.7	21.4	54.3	53.6
	知識・技能	6	20	9.3	9.2	46.4	45.9
評価の観点	思考・判断・表現	17	53	30.3	30.0	57.1	56.6
	主体的に学習に取り組む態度	13	47	16.2	16.0	34.5	34.0
問題形式	選択式	—	—	—	—	—	—
	短答式	15	48	24.8	24.7	51.8	51.5
	記述式	13	44	19.4	19.1	44.0	43.4

※1つの設問が複数の区分に該当する事があるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

### 設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点		問題形式		貴教育委員会		大阪府					
				「エネルギー」	「粒子」	「生命」	「地球」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
3	(1)① 太平洋にあるDのプレートの名前を書く	太平洋プレートについて理解している	3			○	○				○			61.3	12.0	59.3	15.3
	(1)② 海洋プレートが他のプレートの下に沈み込み、海の深さがまわりの海底に比べて特に深くなっている地形の名前を書く	海溝について理解している	3			○	○				○			30.3	21.9	30.6	24.6
	(2) マグマが冷え固まってできた火成岩をすべて選ぶ	火成岩について理解している	3			○	○				○			35.8	0.2	35.1	0.5
	(3) 比較的大きな鉱物が小さな鉱物やガラス質の間に散らばっているつくりの名前と、そのつくりをもつ火成岩をそれぞれ選ぶ	斑状組織と火山岩について理解している	3			○	○				○			53.6	0.3	54.2	0.5
	(4)① 火山灰に関することがらについて述べた文とし、その内容が誤っているものを選ぶ	火山灰に関することがらについて考えて考えることができる	4			○	○				○			51.1	0.7	51.3	1.0
	(4)② 富士山の噴火による火山灰が、富士山の西の方向よりも東の方向のほうが、より遠くまで到達すると予測されている理由を書く	中緯度上空を吹く風について考え、火山灰がその風に流されることを説明することができる	4			○	○				○			44.9	21.5	43.9	23.9

令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）  
**設問別結果 [理科B]**  
**大阪市教育委員会**

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	12,494	108	46.5	9.4
大阪府	45,789	372	46.0	11.0

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	30	100	46.5	46.0	—	—
学習指導要領の領域	「エネルギー」	6	20	8.1	8.1	40.5	40.5
	「粒子」	6	20	7.4	7.3	36.9	36.5
	「生命」	12	40	21.7	21.4	54.3	53.6
	「地球」	6	20	9.3	9.2	46.4	45.9
評価の観点	知識・技能	17	53	30.3	30.0	57.1	56.6
	思考・判断・表現	13	47	16.2	16.0	34.5	34.0
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	15	48	24.8	24.7	51.8	51.5
	短答式	13	44	19.4	19.1	44.0	43.4
	記述式	2	8	2.3	2.2	28.5	27.4

※1つの設問が複数の区分に該当する事があるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点		問題形式		貴教育委員会		大阪府			
				「エネルギー」	「粒子」	「生命」	「地球」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
4	(1)① 花火が開いた位置からごうさんまでの距離を求める	音の伝わる速さを求め、花火が開いた位置から人のいる位置までの距離を計算により求めることができる	4	○				○		○	○	47.5	14.0	46.8	16.9
	(1)② 花火を見たときの気温が低かったと仮定したときの、異なる2つの位置における、花火が開いたときの、光が見えてから音が聞こえるまでの時間の差について述べた文として正しいものを選ぶ	音が空気中を伝わる速さの温度による違いによって起こることについて考えることができる	3	○				○		○	○	52.1	0.4	52.3	0.7
	(2) 液体の中や固体の中で音が伝わるかどうかについて述べた文として正しいものを選ぶ	液体の中や固体の中での音の伝わり方を理解している	3	○				○		○	○	46.5	0.5	46.8	0.9
	(3)① 音の波形から、その波形として記録された音の振動数を求める	記録された波形から、弦の1回の振動にかかる時間を求め、その時間から弦の振動による音の振動数を求めることができる	4	○				○		○	○	15.3	23.9	15.4	27.7
	(3)② ⑥の音の波形と⑦の音の波形を記録したものとして、適しているものをそれぞれ選ぶ	弦が振動する部分の長さや弦の振れ幅の大きさにより、音の波形がどのように変化するか考えることができる	3	○				○		○	○	40.4	0.6	40.6	1.0
	(3)③ 弦の張りを強くして弦をはじいたときの、音の波形を選ぶ	弦を張る強さにより、音の波形がどのように変化するか考えることができる	3	○				○		○	○	47.6	2.7	47.2	3.1

令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）  
**設問別結果 [理科B]**  
**大阪市教育委員会**

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	12,494	108	46.5	9.4
大阪府	45,789	372	46.0	11.0

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
全	体	30	100	46.5	46.0	—	—
学習指導要領の領域	「エネルギー」	6	20	8.1	8.1	40.5	40.5
	「粒子」	6	20	7.4	7.3	36.9	36.5
	「生命」	12	40	21.7	21.4	54.3	53.6
	「地球」	6	20	9.3	9.2	46.4	45.9
評価の観点	知識・技能	17	53	30.3	30.0	57.1	56.6
	思考・判断・表現	13	47	16.2	16.0	34.5	34.0
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	15	48	24.8	24.7	51.8	51.5
	短答式	13	44	19.4	19.1	44.0	43.4
	記述式	2	8	2.3	2.2	28.5	27.4

※1つの設問が複数の区分に該当する事があるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点		問題形式		貴教育委員会		大阪府			
				「エネルギー」	「粒子」	「生命」	「地球」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
5B	(1) ある時期のカエルの胚のようすを表した図を、変化の順に並べかえる	カエルの発生について理解している	3		○		○			○		88.5	1.7	88.0	2.4
	(2)(1)(i) 有性生殖を行う生物において生殖細胞がつくられるときの、体細胞分裂とは異なる特別な細胞分裂の名前を書く	減数分裂について理解している	3		○		○			○		58.4	18.0	57.9	19.8
	(2)(1)(ii) 親の体細胞の染色体から、つくれる卵の染色体と精子の染色体を表したものとして適しているものをそれぞれ選ぶ	減数分裂によって親の染色体が半数ずつ生殖細胞に分配されることを理解している	4		○		○			○		37.7	0.8	37.7	1.2
	(2)(2) 単細胞生物の無性生殖における一方の子の体細胞の染色体から、親ともう一方の子の体細胞の染色体を表したものとして適しているものをそれぞれ選ぶ	無性生殖における、親から子への染色体の受けがれ方について理解している	3		○		○			○		69.8	0.8	69.9	1.2
	(2)(3)(i) できる種子がすべて黄色になるのは、どのような遺伝子の組み合わせをもつ個体を親としてかけ合わせたときかをすべて選ぶ	親の遺伝子の組み合わせと子に現れる形質について考えることができる	3		○		○		○	○		34.1	0.9	32.7	1.2
	(2)(3)(ii) 黄色の種子をつくるエンドウXと緑色の種子をつくる純系のエンドウをかけ合わせたときでできる種子の数の比が黄色:緑色=1:1である場合の、エンドウXの遺伝子の組み合わせを書く	分離の法則をもとに、子に現れる形質の比と、親の遺伝子の組み合わせについて考えることができる	4		○		○			○		34.5	22.7	32.5	25.7

# 令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）

## 設問別結果 [英語]

大阪市教育委員会

### 集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	15,121	130	54.4	6.5
大阪府	57,690	468	53.2	7.4

### 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
学習指導要領の領域	全体	35	100	54.4	53.2	—	—
評価の観点	聞くこと	10	26	16.1	15.8	62.0	61.0
	読むこと	11	32	16.6	16.0	51.8	50.0
	話すこと[やり取り]	—	—	—	—	—	—
	話すこと[発表]	—	—	—	—	—	—
問題形式	書くこと	14	42	21.7	21.4	51.8	50.8
	知識・技能	19	52	29.6	29.1	57.0	56.0
	思考・判断・表現	16	48	24.8	24.1	51.7	50.2
問題形式	主張的・論理的・批判的態度	—	—	—	—	—	—
	選択式	24	67	40.5	39.6	60.5	59.1
問題形式	短答式	1	3	2.2	2.1	73.0	70.9
	記述式	10	30	11.7	11.4	39.1	38.2

※1つの設問が複数の区分に該当する事があるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

### 設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点	問題形式	貴教育委員会		大阪府							
				聞くこと	読むこと	話すこと	「やり取り」	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主張的・論理的・批判的態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1	(1) 会話を聞いて、ケリーが「あなたは泳ぐことを楽しみましたか」と尋ねた後に続くボブの適切な応答を選ぶ	短いやりとりを聞いて話し手の意向を正確に理解し、会話の続きをして適切な応答を選択することができる	2	○					○		○			93.0	0.0	92.4	0.1
	(2) 会話を聞いて、ケリーが「その映画はどうでしたか」と尋ねた後に続くボブの適切な応答を選ぶ		2	○					○		○			85.0	0.1	83.9	0.1
	(3) 会話を聞いて、ケリーが「あなたはそれをどこで買いましたか」と尋ねた後に続くボブの適切な応答を選ぶ		2	○					○		○			79.7	0.1	77.6	0.2
	(4) 会話を聞いて、ケリーが「あなたと一緒にそこへ行ってもいいですか」と尋ねた後に続くボブの適切な応答を選ぶ		2	○					○		○			72.6	0.0	70.7	0.2
2	(1) グリーン先生の説明を聞いて、「生徒たちはCの場所で何の動物を見ることができますか」という質問に対する適切な答えを選ぶ	校外学習における学習の流れの説明を聞き、説明の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握することができる	3	○					○		○			76.1	0.1	75.5	0.2
	(2) グリーン先生の説明を聞いて、「生徒たちはグリーン先生に2つの質問の答えをどこで見せますか」という質問に対する適切な答えを選ぶ		3	○					○		○			73.5	0.2	72.1	0.3
	(3) グリーン先生の説明を聞いて、「グリーン先生は3種類の動物についての答えを見つけるための役に立つこととして何を言いましたか」という質問に対する適切な答えを選ぶ		3	○					○		○			49.3	0.4	48.2	0.6
3	(1) ポスターと質問を読み、会話を聞いて、「ジョンが予定通りにVRテニス体験( VR Tennis Experience )に参加するためには、遅くとも何時までにイベントルーム( Event Room )へ行く必要がありますか」という質問に対する適切な答えを選ぶ	日常的な話題について、ポスターを読み、それについてのまとめた会話を聞き、話の概要を捉えて、内容の要点を正確に把握することができる	3	○					○		○			32.0	0.3	31.8	0.5
	(2) ポスターと質問を読み、会話を聞いて、How much will John's sister need to pay in total as the fee for the admission and the special event? という質問に対する適切な答えとなるように、答え中の空欄に入る数字として最も適切なものを選ぶ		3	○					○		○			45.9	0.5	44.6	0.7
	(3) ポスターと質問を読み、会話を聞いて、会話やポスターの内容と合わない英文を選ぶ		3	○					○		○			40.1	0.5	39.7	0.7

# 令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）

## 設問別結果 [英語] 大阪市教育委員会

### 集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	15,121	130	54.4	6.5
大阪府	57,690	468	53.2	7.4

### 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
学習指導要領の領域	全体	35	100	54.4	53.2	—	—
評価の観点	聞くこと	10	26	16.1	15.8	62.0	61.0
	読むこと	11	32	16.6	16.0	51.8	50.0
	話すこと[やり取り]	—	—	—	—	—	—
	話すこと[発表]	—	—	—	—	—	—
問題形式	書くこと	14	42	21.7	21.4	51.8	50.8
	知識・技能	19	52	29.6	29.1	57.0	56.0
	思考・判断・表現	16	48	24.8	24.1	51.7	50.2
問題形式	主従的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
	選択式	24	67	40.5	39.6	60.5	59.1
問題形式	短答式	1	3	2.2	2.1	73.0	70.9
	記述式	10	30	11.7	11.4	39.1	38.2

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

### 設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点	問題形式	貴教育委員会		大阪府							
				聞くこと	読むこと	話すこと	「やり取り」	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主従的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
4	(1) 会話文の空欄に入る適切な語(複数形の主語に対する現在形)を選ぶ	語や文法事項等を理解して、正しい文を書くことができる	3					○	○		○			64.9	0.1	65.3	0.3
	(2) 会話文の空欄に入る適切な語(疑問詞 Where )を選ぶ		3					○	○		○			79.6	0.1	78.5	0.2
	(3) 会話文の空欄に入る適切な語句(手段の by を使った語句)を選ぶ		3					○	○		○			78.8	0.2	77.6	0.3
	(4) 会話文の空欄に入る適切な英文(最上級を使った文)を選ぶ		3					○	○		○			70.5	0.3	68.4	0.5
	(5) 会話文の空欄に入る適切な語句(現在完了形)を選ぶ		3					○	○		○			70.4	0.6	69.8	0.7
5	(1) 下書きの内容と合うように、スピーチ原稿の下線部(1)に2語の英語を入れる( In June )	与えられた情報に基づいて、指示された語数で正しい英語を書くことができる	3					○	○			○		37.3	14.0	37.1	15.7
	(2) 下書きの内容と合うように、スピーチ原稿の下線部(2)に2語の英語を入れる(不定詞副詞的用法 to see )		3					○	○			○		52.3	16.0	53.4	18.1
	(3) 下書きの内容と合うように、スピーチ原稿の下線部(3)に3語の英語を入れる( I was surprised )		3					○	○			○		35.0	25.2	29.5	28.4
	(4) 下書きの内容と合うように、スピーチ原稿の下線部(4)に2語の英語を入れる(受身形 are loved )		3					○	○			○		28.5	22.4	27.3	24.8
6	(1) 会話文とグラフを読み、会話文やグラフの内容から、グラフ中の①～④に入る国名の組み合わせとして適切な答えを選ぶ	日常的な話題について、まとまりのある会話文とグラフを読み、話の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握することができる	3	○					○	○				54.6	0.4	53.1	0.7
	(2) 会話文を読み、会話文の内容から、問題文の空欄に入る数字として適するものを、会話文の中から抜き出して書く		3	○					○		○			73.0	8.9	70.9	11.3
	(3) 会話文を読み、会話文の内容から、会話文中の下線部④ the question が意味する内容と合う英文を選ぶ		3	○					○	○	○			72.3	0.7	69.8	1.0
7	(1) 英文を読み、絵を見て内容を理解し、下線部に指示された語数の英語を入れ、英文を完成させる(過去進行形)	コミュニケーションの場面を理解したうえで、文法や語彙の知識を活用し、場面に応じた英文を書くことができる	3					○	○			○		34.2	15.0	33.0	16.6
	(2) 英文を読み、絵を見て内容を理解し、下線部に指示された語数の英語を入れ、英文を完成させる(現在完了進行形)		3					○	○			○		22.9	19.3	22.2	20.9
	(3) 英文を読み、絵を見て内容を理解し、下線部に指示された語数の英語を入れ、英文を完成させる(依頼)		3					○	○			○		49.8	20.0	48.6	22.4

# 令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）

## 設問別結果 [英語]

大阪市教育委員会

### 集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	15,121	130	54.4	6.5
大阪府	57,690	468	53.2	7.4

### 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	35	100	54.4	53.2	—	—
学習指導要領の領域	聞くこと	10	26	16.1	15.8	62.0	61.0
	読むこと	11	32	16.6	16.0	51.8	50.0
	話すこと[やり取り]	—	—	—	—	—	—
	話すこと[発表]	—	—	—	—	—	—
評価の観点	書くこと	14	42	21.7	21.4	51.8	50.8
	知識・技能	19	52	29.6	29.1	57.0	56.0
	思考・判断・表現	16	48	24.8	24.1	51.7	50.2
問題形式	主張的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
	選択式	24	67	40.5	39.6	60.5	59.1
	短答式	1	3	2.2	2.1	73.0	70.9
	記述式	10	30	11.7	11.4	39.1	38.2

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

### 設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点	問題形式	貴教育委員会		大阪府					
				聞くこと	読むこと	話すこと	「やり取り」	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主張的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)
8	(1) 手紙を読み、手紙の内容から、手紙中の空欄AIに入る適切な語を選ぶ	日常的な話題についての手紙を読み、話の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握することができる	2	○				○		○		64.3	0.5	63.7	0.8
	(2) 手紙を読み、手紙の内容から、手紙中の下線部①の「[ ]」内の語を、前後の内容から考えて意味の通る文になるように適切に並べかえて英文を完成させる		3			○	○				○	46.2	14.4	47.3	16.6
	(3) 手紙を読み、手紙の内容から、On December 31, what did Peter learn when Hiroshi talked with Peter in English about Hiroshi's grandmother's explanation? という質問に対する適切な答えを選ぶ		3	○				○	○			54.7	1.2	53.0	1.5
	(4) 手紙を読み、手紙の内容から、After returning to Australia, what did Peter do to study Japanese harder? という質問に対する答えとなるように、答え中の空欄に手紙中から英語5語を抜き出して書く		3	○				○			○	30.1	31.6	29.4	35.2
	(5) 手紙を読み、手紙の内容と合う英文を選ぶ		3	○				○	○			50.4	1.6	48.7	1.9
9	(1) スピーチ原稿を読み、スピーチ原稿の内容から、What did Takao say about bonsai? という質問に対する答えとして合わないものを選ぶ	社会的な話題についてのスピーチ原稿を読み、話の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握することができる	3	○				○	○			48.3	1.7	46.5	2.2
	(2) 【1】スピーチ原稿を読み、スピーチ原稿の内容から、英文中の(a)(b)に入る語句を選ぶ		3	○				○	○			44.4	1.2	41.2	1.7
	(2) 【2】スピーチ原稿を読み、スピーチ原稿の内容から、英文中の(c)(d)に入る語句を選ぶ		3	○				○	○			39.9	2.4	37.2	2.9
	(3) スピーチ原稿を読み、スピーチ原稿の内容から、スピーチ原稿の下線部①の「[ ]」内の語句を、前後の内容から考えて意味の通る文になるように適切に並べかえて英文を完成させる		3			○	○				○	54.4	21.9	53.7	24.3
	(4) スピーチ原稿を読み、スピーチ原稿の内容と合う英文を選ぶ		3	○				○	○			42.3	5.2	40.7	5.2